

公表 事業所における自己評価結果（放デイ）

事業所名		はるの風				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3人	2人	車椅子での活動だと、スペースが狭くなってしまいが、車椅子から降りてもらう事で、スペース確保が出来ている。	限られた空間の中で、その場の状況に応じて、活動スペースを分ける工夫をし、生理整頓を心掛ける。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5人			引き続き、他店舗からヘルプをもらうなどし、安全に療育が行えるようにしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく、構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3人	2人	入口はスロープになっており、室内はフラットになっています。また、トイレに段差があるので、ポータブルトイレに切り替えた。	利用者の特性に応じ、安心して過ごすことのできる環境づくりに努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5人			今後も継続していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5人			今後も継続していく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5人		更新前にモニタリングを行い、色々な意見をうけ振り返りと目標設定を行っています。必要時には随時、話し合いの場を設け、改善に努めています	引き続き、業務に対し目標設定をもち、日々振り返りを行いながら、しっかり日頃の預かりに繋げていきたいと思う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5人		保護者の意向を把握出来るように、保護者希望調査表を取っている。	護者等向け評価表だけではなく、保護者アンケートもしっかり把握し、保護者様の思いを把握し、寄り添っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5人			随時、職員面談等を行い、業務改善に努めていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4人	1人		保護者アンケートを実施し、改善に取り組みたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5人		移乗時等の研修や、感染症の研修を行っている。	委員会を設置し、研修・訓練を行っている。外部の研修も取り入れていきたいと思う。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4人	1人		今後も継続していく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5人		保護者面談時に、保護者様と一緒にアセスメントの確認を行い、その時の子供の状態に合った計画書を作成できるようにしている。	ニーズや課題を客観的に分析できる様、職員研修を行い、しっかりしたアセスメント会議等を行えるようにしていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5人		適時、話し合いを行い、情報共有している。	引き続き、色々な支援が引き出せるように、全員参加で話し合いが行える様にしていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5人		適時、話し合いを行い、情報共有している。	今後も継続していく
	15	こどもの適応行動の状態を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3人	2人	共通のアセスメントシートを使用しています。子供に変化があった場合は随時見直しを行っている。	アセスメントの確認はおこなっている。今後も職員全員が周知しているか確認しながら継続していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5人			今後も継続していく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5人			今後も継続していく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5人			時期によっては制作が続いてしまう時があるが、制作での工程や内容を変え、子供が色々な方面から色々な事を吸収出来る様に考えていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5人			子供の日々の成長に合わせて計画が立てられる様に、日々、見直ししていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5人		毎日、申し送りを行っている。	今後も継続していく

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5人		送迎がある為、支援終了後に職員揃っての振替は出来ない為、翌日、必ず振り返りを行っている。	今後も、日々の支援について振り返りを行い職員全員で共有し、日々の療育や保護者様との連携に繋げていきたいと思う。
----	--	----	--	--	---

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5人			今後も継続していく	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5人		半年に一度のモニタリング会議を行っている。また、見直し事がある時は、随時話し合いを行い、職員全員で確認を行っている。	引き続き、色々な支援が引き出せるように、全員参加で行える様にしていきたいと思う。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	4人	1人			ガイドラインについての学習会を行い、理解を深め、具体的な支援につなげていく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4人	1人			自分で考え、自己選択できるだけの待つ保育を心掛け、積極的なコミュニケーションで信頼関係を築き、自己を引き出せる様支援していく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4人	1人			サービス担当者会議自体を行っていないので、きちんと連携が取れるように努めていく。
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4人	1人			連携を意識し、医師や関係者との漫談等の話し合いが行える機会を設けるなど、意見交換が出来る場を作るなど取り組んでいきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5人				今後も継続していく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3人	2人		就学前に情報共有できるように会議をおこなっている。	就学前に情報共有できるように会議をおこなっているが、全職員でしっかり情報共有出来るように努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3人	2人		移行先からの聞き取りがあった場合には、必要に応じて情報提供等を行っている。	今後も、他機関との連携を図っていききたいと思う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1人	4人			研修に参加する時間の確保が難しいが、今後は研修への参加も視野に入れたシフト作成を行っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4人	1人		中学校との交流会を行っている。	今後も継続していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0人	5人			協議会の開催日程を把握していないので、情報収集に徹し、積極的に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5人				今後も継続していく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1人	4人			ペアレント・トレーニング研修に積極的に参加し、勉強していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5人				今後も継続していく
保護者の説明等	37	放課後等デイサービス提供を円滑にする際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5人				今後も継続していく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5人			同意を得ている	今後も継続していく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5人				今後も継続していく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5人			茶話会等を企画し、保護者様同士で交流する機会を設けた。	今後も継続していく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5人			保護者様等からの苦情やご意見を頂いた時は、真摯に受け止め、迅速に対応している。	今後も継続していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5人				今後も継続していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5人			鍵付き書庫で管理している。	今後も継続していく
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5人			言葉だけでなく、お子様の状態に合わせ様々なツールを利用しコミュニケーションを取っています。また保護者の方とは連絡ツールや対話において情報伝達・共有に努めている。	今後も継続していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5人			ハロウィーンで地域を回ったり、クリーン活動等を行い、交流を図っている。	地域の方々が、参加して頂けるようなイベントを、より多く出来るように考えていきたいと思う。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5人		保護者の方向けに全てのマニュアルを配布し、契約時にも説明し、周知徹底をしている。	今後も継続していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5人		地震、火災、水害を想定し、マニュアルに基づき、訓練を行い、随時確認、見直しを実施している。	今後も継続していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5人			今後も継続していく
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5人			今後も継続していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	5人			今後も継続していく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5人			今後も継続していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5人		安全委員会にて報告確認し、随時取りまとめ、会議にて今後の対策を検討している。	今後も継続していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5人		3ヶ月に1回、研修・訓練を行っている。	今後も継続していく
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4人	1人	身体拘束について、おk様の状態に合わせてサポート出来るように、適宜見直しの会議を行っている。また、保護者様とも拘束について確認出来るように同意書を頂き、支援計画書に記載している。	今後も継続していく

)
日

]